

一般質問通告表

令和元年第2回始良市議会定例会（6月26日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
11. 峯下 洋	<p>1. ごみ行政について</p> <p>2. フードドライブ・フードバンクについて</p>	<p>地域の皆さまの努力で可燃物、資源物の分別も順調に推移していることと評価しているが、始良市は県内唯一、人口増が続いている市であるため、一方でごみの量の増加が懸念される場所である。</p> <p>全国では年間に643万トンもの食料品が廃棄され、その焼却費に8千億円が投じられているとのことである。</p> <p>会派「市民くらぶ」で、生ごみのリサイクル活動について日置市へ研修に行ったところであるが、以下について問う。</p> <p>(1) 日置市では、生ごみを24時間体制でごみステーションに置ける60リットル樽を準備し、それを活用して堆肥化して循環させている。始良市も同様の取組をする考えはないか。</p> <p>(2) 自治体によっては、資源物の回収量を増やすために、最寄りの「ごみステーション」に曜日毎に各種リサイクルゴミを排出していると聞くが、本市でも検討する考えはないか。</p> <p>(3) 全国的に河川や海の環境保全のために、レジ袋の有料化等により「プラスチックごみ」の減量化に取り組み始めているが、本市もその様な取組を大々的にする考えはないか。</p> <p>生ごみ減量化の一環として「フードドライブ」・「フードバンク」という言葉を多く耳にするが本市ではどのように取り組んでいるか。</p> <p>実施に当たっての課題はあるか。どのようなルールのもとに実施しているか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 防災無線・防災ラジオの活用について	<p>(1) 防災ラジオは災害時に大変有効なものだと思うが、どの程度普及しているか。</p> <p>(2) 防災無線のその他の活用方法としてどのようなことを考えているか。例えば自治会の連絡などに使用できないか。</p> <p>(3) 最近のスマートフォンの保有率・普及率は目を見張る。出来れば防災無線もスマートフォンで聞けると便利だと思うが可能か。</p>	市 長
12. 湯之原一郎	1. 森林・林業の振興と活性化策について	<p>始良市議会では森林・林業・林産業活性化議員連盟を結成しており、市域の半分を占める森林・山林の現状、林業振興や活性化への理解を深めることを目的に、林政の専門家をお招きして講演会を開催した。始良市を含めた域内の林業の現状や課題等が提起されたが、それらを含めて林業振興と活性化策について以下を問う。</p> <p>(1) 先の一般質問でも提起したが、市外業者等による皆伐後の再造林放棄は、森林の持つ機能を喪失させ、多くの問題を抱えている。曾於地区では、伐採届の厳格化により、乱伐の防止につながっているとの報道もあったが、市ではこのことについて対応を考えているか。</p> <p>また、再造林の普及啓発について、どのような取組を考えているのか。</p> <p>(2) 産業建設常任委員会では先般実施した所管事務調査で、つくば市にある国土交通省国土技術政策総合研究所にあるCLT（直交集成材）実験棟を訪問し研修した。</p> <p>国においては、森林の循環の balan</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>スと森林資源の有効活用を図るためにCLTの普及に力を注いでゆく方針が垣間見えた。これから本市では庁舎建設等建築工事が目白押しになってくる。CLTを含む木材の活用についてどのような方針を持って対処する考えか問う。</p> <p>(3) 市有林の部分林の現状と部分林契約者への対応等について以下を問う。</p> <p>①契約期間内において、市への返還を希望する部分林契約者への対応はどうするのか。</p> <p>②契約者の実態がつかめなくなった部分林への対応はどうするのか。</p> <p>③契約期間が満了して皆伐後に返還された市有林の管理はどうするのか。</p> <p>④そのほか、部分林に関連して解決を要する問題はないか。</p> <p>(4) 森林環境税の徴収開始を前に、本年度から森林環境譲与税の交付が始まるが、恒久財源として荒廃した森林の適切な管理や森林整備の促進、更に林業の成長産業化に大きく貢献するものと期待するところであるが、市町村も大きな役割を担うことになる。</p> <p>①市町村配分額は私有林人工林面積・林業就業者数・人口を基礎に算定することになっているが、始良市への交付概算額はどれ位か。</p> <p>②森林環境譲与税の使途の対象となる事業は多岐にわたるが、始良市ではどのような事業を検討しているか。</p> <p>③経営意欲のない森林所有者の森林を意欲と能力のある林業経営体に管理を委託することになっている。意欲と能力のある林業経営体は、市内にどれくらいあるのか。また、そのような経営体の育成についてどう対処</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>していく考えか。</p> <p>④経営意欲のない森林所有者の把握はどのようにして行うのか。</p> <p>⑤山林への有害鳥獣被害として、再造林したスギやヒノキへのシカの食害や、樹皮の剥皮が問題となっている。造林意欲を減退させる事態を招きかねないが、何か対応できないか。</p> <p>(5) 林業政策の変革期を迎え、県・国との緊密な連携を図るべき時期に、県からの派遣林務課職員がいなくなったとのことであるが、派遣受け入れをやめるに至った理由を問う。更に今後どのように対応していく考えなのか問う。</p>	
13. 小山田邦弘	1. 日本遺産認定について	<p>(1) 日本遺産認定の経緯と今後の展開について</p> <p>このほど蒲生麓が鹿児島県では初めて日本遺産として文化庁より認定された。ここに至る経緯を改めて示せ。</p> <p>市としてはこれをどのように捉え、今後の市勢発展にどのようにつなげ、活かしていくのか基本的な考えを示せ。</p> <p>(2) 今回の認定の特徴について</p> <p>今回の認定は単一の市町村内でストーリーが完結する「地域型」ではなく、複数の市町村にまたがってストーリーが展開される「シリアル型」であることが一つの特徴である。</p> <p>本市だけでは完結しないストーリーの魅力と、他市との連携など今後の課題をどのように捉えているか。</p> <p>(3) 地域振興策への影響について</p> <p>日本遺産は世界遺産と異なり、文化財の保全のために新たな規制を図るこ</p>	市長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>とを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、地域活性化を図ることを目的としている。</p> <p>この目的達成のために、蒲生麓のまちづくり、地域振興策ではどのような活性化策が想定されているのか。一方で、世界遺産までとはいかなくとも規制強化は想定されていないのか。</p>	
14. 萩原 哲郎	1. 市内の海岸、潮干狩りについて	<p>以前は、市内のあらゆる場所で干潮時、家族連れが波打ち際に繰り出し、潮干狩りを楽しんでいた。</p> <p>ここ数十年、潮干狩り禁止の看板が立ったまま、潮干狩りが出来ない状態が続いている。</p> <p>家族連れで海岸に遊びに来られた方から、遠浅の綺麗な砂浜で、潮干狩りができないのはもったいない。なぜ潮干狩りができないのか聞かれた。</p> <p>潮干狩りは家族連れの楽しみの場所でもあり、潮干狩り解禁を待ち遠しく待たれている方も多いと聞く。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) いつから、潮干狩り禁止になったのか。</p> <p>(2) 以前の質問で、アサリ貝がいなくなった理由として、ナルトビエイの食害との答弁であった。他に考えられないか問う。</p> <p>(3) 潮干狩り禁止になってから現在までの、潮干狩り解禁に向けての過程を問う。</p> <p>(4) 潮干狩りを待ち望んでいる住民が多いと思うが、今後の潮干狩り実施に向けて、解禁の予定はないか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. サボールランドパーク 始良の草刈り・器具等について	<p>サボールランドパーク始良は昨年の夏頃は雑草が生い茂り、草刈り等の管理が追いつかない状態であったが、秋頃から雑木の伐採や雑草等の草刈りが行われ、風通しも良く綺麗になり、ウォーキング・ジョギング愛好者の方から喜ばれ、来園者が増えている。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 秋口まで草刈りが遅れた原因は何か。また、年に何回草刈りを行っているのか、今後の草刈り計画を問う。</p> <p>(2) 雑木の伐採や雑草等の草刈りの後、搬出作業が遅れた原因は何か。</p> <p>(3) 近年、サボールランドパーク始良は利用者も増えている。特に高齢者や障がい者施設の入所者の利用も多いと聞く。公園内での休憩に必要なベンチ設置の要望がある。公園は5段階に遊歩道が設置されているが、1段の距離が200から250メートルであり、現在3段目に1か所の休憩ベンチがあるだけで、高齢者や障がい者にとっては少なくとも、1か所以上の休憩ベンチが必要と思うが考えを問う。</p> <p>(4) 体力作りのための健康遊具が少ない。増設の要望があるが考えを問う。</p> <p>(5) サボールランドパーク始良が開園され二十数年が経過し、距離表示等が消え見えない状態である。改善の考えを問う。</p> <p>(6) 公園西側の歩道から展望台に向かう階段までの中間点歩道（アンツーカー）の陥没場所は、ここ数年陥没したままの状態であるが、改善の考えを問う。</p> <p>(7) サボールランドパーク入口駐車場は、防犯灯が無く、暗く危険である。防犯灯設置の考えはないか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 烏帽子岳登山道整備について	<p>市内最高峰を誇る烏帽子岳（703メートル）は、絶景ポイントである。</p> <p>前回、山頂の整備、草刈りやベンチ・看板の設置を行い、今後、登山道の整備を検討していくとの事であったが、以下を問う。</p> <p>（1）その後の進捗状況を問う。</p> <p>（2）今後、登山道の整備完了後、県道登山道路入り口付近へ駐車場を設置する考えはないか。</p>	市 長
15. 犬伏 浩幸	<p>1. Society 5.0（ソサエティ5.0）について</p> <p>2. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会について</p>	<p>Society 5.0は、内閣府の第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されたものであり、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」とされている。</p> <p>本市における考え方や取組、今後の対応を問う。</p> <p>（1）東京オリンピック・パラリンピック大会開催に伴う経済波及効果は、全国で約32兆円と試算されている。本市における大会へ向けた経済波及・地域活性化に関する取組を問う。</p> <p>（2）大会ビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」をうたい、「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を3つの基本コンセプトとしている。</p> <p>東京2020大会を契機に、多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会の実現を創造することが、今大会の一番のレガシーになると考えるが見解を示せ。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 小規模企業振興について</p>	<p>日本の全事業所のうち、99.7パーセントが中小企業であり、そのうち約9割が小規模事業者である。</p> <p>小規模事業者は、人口減少・高齢化、競争の激化、地域経済の低迷といった、構造変化に直面しており、売上や事業所数の減少、経営者の高齢化等の課題が山積している。</p> <p>小規模事業者の「成長発展」や「事業の持続的発展」は、「地域の持続的発展」につながると考える。</p> <p>したがって、市内小規模事業者への更なる支援拡充が必要であると認識している。</p> <p>平成26年に小規模企業振興基本法が制定され、鹿児島県においては、条例の一部改正を行った。また、県内他市町では、小規模企業を支援するための基本条例を制定している自治体もある。</p> <p>本市における小規模企業の振興に係る基本条例制定について見解を問う。</p>	市 長